

富士南地区 生涯学習推進会

人口：17,160人 世帯数：6,978世帯（平成31年1月1日現在）



スローガン

生涯学習活動を推進し、環境にやさしい安全で快適な
南地区を創り出しましょう！



会長 松元 茂男

沿革

昭和56年4月1日に「富士南地区」は誕生しました。駅南地区から2地区、田子浦地区から9地区が分離して、新たに11地区で発足しました。
安政年間（1855～1857年）の富士川の洪水で地域一帯に大被害が発生し、多くの農民が離散しましたが、幕府の復旧工事により、堅牢な堤防ができ、農民が故郷に帰ってきたことと、築堤工事の総帥であった土岐撰津守の紋所が「桔梗」であったことから、堤防を「帰郷堤」と名付けたとされ当地区は「ききょうの里」と呼ばれています。

富士南のみどころ

「新たなまちづくりの拠点 平成30年完成」

旧富士南まちづくりセンターは昭和56年4月に富士南公民館として開館し、平成2年の増築工事を経て、まちづくりセンターとして運用してきましたが、平成21年の行政懇談会で「市内のまちづくりセンターの中では狭小で活動に支障をきたし、老朽化も進んでいる」として、移転新築について、要望書を提出しました。

その後、建設準備委員会が中心となり、行政懇談会の要望に基づいて、用地選定の検討を行い、平成27年に新築が承認され、新たに建設委員会が発足しました。委員は当時のまちづくり協議会を中心に富士南地区住民から選出されました。

委員会と市まちづくり課との会合を重ね、施設整備に関する意見や提案を反映させることができました。

新しいまちづくりセンターは、現在の場所から北側へ約200m程で消防26分団西側になります。鉄筋コンクリート造り2階建て、敷地面積は現状の2.17倍、延床面積は2.4倍と大きくなりました。

駐車場は54台（障害者用2台）、開放的な図書コーナーや、多目的室という大きな研修室等を備え、多様な活動ができるようになります。

随所にユニバーサルデザインを取り入れ様々な方々に使っていただけるよう充実した仕様となっています。

また新まちづくりセンターの玄関西側には他の地区には無い壁画を設置しました。

この壁画は、平成28年度富士南中学校の卒業生約270点の中から選出された作品です。

新しいまちづくりセンターは平成30年6月に完成し開館準備を経て、8月5日に落成式を行いました。さらに、来年には西側の隣接地に「ききょうの里公園」が整備されます。

地域活動の拠点として、また憩いの場所として活用していきたいと思っています。

生涯学習の活動

平成30年8月に新装なった富士南まちづくりセンターを拠点として、生涯学習の推進と明るく住み良い地域づくりを進めるため、各種団体相互の連携のもと、一致団結して、自主的な生涯学習活動の実践を図ることを目的として役員10人、推進員70人で、安全で住み良い地域を目指して活動しています。

「ききょうの里体育祭」は参加者の安全を考慮して9月末に開催時期を変更し、各種目も趣向を凝らして開催しています。

「ききょうの里文化祭」は公共交通機関のみなバスを活用し、より参加しやすい環境を作りながら、文化の祭典を盛り上げています。

「三世代交流大集会」は各町内・富士南中学校、そして子ども会などが手作りの大凧を持ち寄り、高く揚がったか、テーマに合っているかななどを審査します。毎年、力作揃いで大空狭しと大凧たちが舞い上がり大会を盛り上げています。



青少年育成部

春、歩け歩けの立案と実施、老若男女の参加で大いに盛り上がり健康作りに一役

春と秋の年2回南中学校校門での挨拶運動を通して生徒とのふれあい

春と秋の年2回南中学校校内巡視を行い生徒とのコミュニケーション作り

春と秋の年2回県内一斉のパトロール参加で非行防止の手助け

秋の文化祭において人気コーナー「小学生対象の手作りゲーム」出店

冬の三世代交流において、凧揚げの審査を担当楽しい1日を過ごします

現在、各地区より選出されたベテラン14名で構成されています。地域の発展には、若い人達の

知恵とエネルギーが必要です。子どもたちがすくすく育つまちづくりをするため、これからも活動していきます。



成人教育部

いつも盛況な南地区文化祭の企画では、隣接の富士南小の協力で体育館も借用し、前夜祭も開催。2009年から2日開催とし、ゲストとして、ハーモニカ日本一の先生のライブ、タレントのアグネスチャンの講演、世界大会優勝の子どもたちのチアダンス、フリースタイルフットボール世界チャンピオンの演技と交流、起業の達人と呼ばれる講師の講座、ギターのライブなどを実施しました。例年ステージは、南中吹奏楽、南小合唱等、15～20チーム約500人が出演、来場者は3500人以上。模擬店も「おいしく食べる文化祭」とグルメ通りをOPENし賑わっています。30周年時は、台風で中止後、クリスマス＆子ども文化祭を臨時開催し、記念植樹・タイムカプセルも実施。そして、2018年は、新しいまちづくりセンターで初の文化祭開催。（詳しくはWEBで）その他、体育祭では競技用具、三世代交流大集会では抽選、そして、お飾り教室、講演会等も担当。規約の所管事業概要①文化祭他コミュニティー活動②地域文化の保護・振興③家庭教育・社会人教育・各種団体の育成④環境美化に関する事。これに従い部員約15名で活動しています。

体育保健部

春季球技大会に始まり、親子体操教室・富士南地区体育祭・秋季球技大会、以上が体育部の主催行事となります。

その中で、富士南地区の特徴的な事業は地区のスポーツ推進委員の方々と協力し、親子体操教室を開催していることです。

地区の年中・年長さんを対象として六月より毎週水曜日に開催しています。子ども達は、初めて見る体育館の広さに大はしゃぎ。大変嬉しそう毎週楽しみにしているお子さんもいて大盛況です。

普段、中々親子で運動をする機会はないよう参加親子の皆さん、本当に楽しんでいます。

ぜひ毎年開催して欲しいとの声を多く聞き、主催者冥利につきます。

それから、9月末に開催しているききょうの里体育祭は、町内会によっては世帯数の減少により、参加できない種目もありますが、参加できるよう工夫して、富士南地区の全地区が参加する楽しい体育祭になるよう努力しています。

これからも、皆さんが気軽にスポーツに触れられる、そんな元気な富士南地区を目指し、頑張ってまいります。

生活安全部

生活安全部は、交通安全週間での立哨や防災講演会の開催を通じ、「地域住民の皆様が安心安全に暮らすための手助けをすること」を目標に活動を続けています。

「食育と食の安全」をテーマに文化祭や三世代交流大集会では美味しいと評判の高い焼きそばを名物の大鉄板4台で焼いています。

「安全とは元来危険や災害などによって損なわれるおそれがない安らかな状態をいうが、生活環境が複雑化し安全が積極的な行動の目標として重要な意味を持ちつつある」とのことで、難しいことですが、安全には危険の予測・想定・排除が必要であり、被害を最小限にする対策などすべてを含んでいるといえます。

これらを踏まえ、少しでも「安心で安全に暮らせる富士南地区」のお手伝いができるように活動していきたいと思っています。

編集を終えて（総務部）

この記念誌の作成や生涯学習推進会各部の活動をフォローし、会長を補佐することが総務部の役割です。これからも地域で活動する皆さんが気持ち良く活動できるよう努めていきたいと思っています。